



掠奪 1978年 岡崎市美術館蔵



いづこへ 1989年

没後 10 年 荻太郎展

T A R O O G U I

2019年

12月4日(水)~12月22日(日)

月曜日休館

午前10時~午後6時 (入館は午後5時30分まで)

岡崎市美術館本館 2階第3・4展示室

観覧料 一般(高校生以上)300円/中学生以下無料

※各種障がい者手帳の交付を受けている方及びその介助者1名は無料

ogui



岡崎市美術館

岡崎市明大寺町字茶園11-3 (岡崎警察署東隣)
TEL.0564-51-4280 FAX.0564-51-4074

没後10年 荻太郎展

T A R O O G U I

岡崎市美術館では、郷土ゆかりの作家として、また新制作協会の重鎮として日本の洋画壇に多大な影響を与え続けた荻太郎(1915-2009)の没後10年を記念して、回顧展「没後10年 荻太郎展」を開催いたします。

1915(大正4)年愛知県北設楽郡稲武町に生まれた荻は、生後ほどなくして岡崎へ転居しました。愛知県立岡崎中学校(現愛知県立岡崎高等学校)へ進学、美術教師だった山本鎌太郎に絵を学びました。その後、東京美術学校(現東京芸術大学)油画科に進学、南薫造、猪熊弦一郎に師事しました。26歳で新制作派協会(現新制作協会)展において新作家賞を受賞、以後2009(平成21)年に亡くなるまで新制作展に出品を続けました。戦後、目まぐるしく変貌する美術界において、自己の制作に対する姿勢を崩すことなく、一貫して具象絵画による表現を追求し続け、人間存在の根源である「生」と「死」を主題とした荻の作品は、没後10年を経た現在も高く評価されています。

本展では、初期から晩年までの新制作展出品作品を中心に、絵本の原画もあわせて展示することで、荻太郎の画業を振り返ります。



撮影：秋山庄太郎



夜(月世界) 1941年 岡崎市美術館蔵



宇宙からのメッセージ(おもちゃの集い) 2002年 岡崎市美術館蔵



山本鎌太郎
風景(旧三島小学校) 1939年 岡崎市美術館蔵



手品師 1965年 岡崎市美術館蔵



エジソン 1988年 岡崎市美術館蔵



こびとのおくりもの 1957年



神おわし給ふや 1970年



はっぱをゆらすのどんなかぜ 2002年 岡崎市美術館蔵

学芸員による展示説明会

日時 12月7日(土)・12月15日(日)
各日とも午後2時～(30分程度)

場所 岡崎市美術館本館2階 第3・4展示室

参加費 無料(ただし当日の観覧券が必要)
事前申込不要

展覧会
イベント

岡崎市美術館

岡崎市明大寺町字茶園11-3
TEL.0564-51-4280
FAX.0564-51-4074

■名鉄東岡崎駅(北口のりば)から

名鉄バス③番のりば JR岡崎駅行、福岡町行に乗車「岡崎警察署前」下車、徒歩約3分

■JR岡崎駅(東口①番のりば)から

名鉄バス岡崎駅前のりば 東岡崎・大樹寺・大門駅・奥殿陣屋・滝団地・東名岩津行に乗車「岡崎警察署前」下車、徒歩約3分

※駐車場には限りがありますので、最寄りの公共交通機関をご利用ください。

